

「委員からの意見・質問等」 一覧

分類1	分類2	分類3	委員名	主な内容	河川管理者の基本的な考え方		
					回答	補足説明等	
1	01.意見	05.環境	01.生態系	浅見委員	自然環境調査の報告書の詳細データを専門家として見たい。		非公開とする貴重種情報の取扱いには、十分留意されたい。
2	02.質問・資料請求	05.環境	01.生態系	浅見委員	ひょうごの川・自然環境調査(武庫川)、 ひょうごの川・自然環境調査(武庫川以外ですでに調査が終わっている河川)		貴重種情報は非公開のためその取扱いには、留意が必要である。 なお、当資料はボリュームが大きいので、提示の方法については、流域委員会でご議論願いたい。
3	02.質問・資料請求	05.環境	01.生態系	浅見委員	河川水辺の国勢調査(武庫川:過去2回分)、 河川水辺の国勢調査(最新版:ひょうごの川・自然環境調査が行われていない河川)		貴重種情報は非公開のためその取扱いには、留意が必要である。 なお、当資料はボリュームが大きいので、提示の方法については、流域委員会でご議論願いたい。
4	02.質問・資料請求	05.環境	01.生態系	浅見委員	武庫川で過去に行われたアセスメントや改修時の調査報告書など		貴重種情報は非公開のためその取扱いには、留意が必要である。
5	02.質問・資料請求	02.流域	05.その他	浅見委員	空中写真(国土地理院撮影ほか) (1946年の米軍撮影の航空写真を含め)		
1	02.質問・資料請求	04.利水	02.その他	池添委員	渇水時に、川の水がどのように変化しているのか、維持用水をどのように確保しているのか、現状を教えてください。 (維持用水の確保の方法を検討願いたい。)		渇水時の状況は、可能な範囲で資料を整理し、説明する。 維持用水は、青野ダムで正常流量の一部を確保している。 (残りは、具体的な対策を行っていない。)
2	01.意見	03.治水	03.災害	池添委員	現在の土地利用の中で、過去の水害が起こればどのような結果になるのか、どのような降雨で、浸水するのか、また被害がでるのか、早急に検討すべきである。 (どのような降雨で被害がでるのか、堤防の補強などを検討願いたい。)		第6回委員会で資料を提示、説明する。堤防の補強については、議題に合わせ、武庫川堤防技術検討委員会での検討概要を提示する。
3	01.意見	01.運営	01.流域委員会	池添委員	委員会は、あまりにも公開や透明性にこだわりすぎていて、本来の川のあり方の議論になかなか入っていけないのではないかと、いつ、異常渇水や水害が起こるかかわからない。この委員会の目的を早期に達成するため努力したい。		-
1	01.意見	02.流域	05.その他	伊藤委員	6全総では流域の定義は、集水域・洪水域・利水域が入る。流域の定義を明確にしておく必要がある。		狭義の意味では、流域は集水域であるが、委員会での議論は、場合によっては氾濫区域、給水区域等も対象とする。(なお、21世紀のグランドデザインでは流域及び関連する水利用地域や氾濫源を流域圏として捉えている。)
2	02.質問・資料請求	02.流域	05.その他	伊藤委員	農林関係の資料の提出もお願いしたい。		
3	02.質問・資料請求	02.流域	01.森林	伊藤委員	流域(本支流別)内の森林の現況(保安林等の面積含む)		

「委員からの意見・質問等」 一覧

分類1	分類2	分類3	委員名	主な内容	河川管理者の基本的な考え方		
					回答	補足説明等	
4	02.質問・資料請求	02.流域	02.農地(ため池含む)	伊藤委員	流域(本支流別)内のため池の状況(1960年代と現在の比較)		
5	02.質問・資料請求	02.流域	05.その他	伊藤委員	流域(本支流別)内の開発状況(森林、農地の状況含む)、開発によって設置された調整池の状況		
6	02.質問・資料請求	02.流域	02.農地(ため池含む)	伊藤委員	農業構造改善事業等による圃場整備の状況		
7	02.質問・資料請求	02.流域	02.農地(ため池含む)	伊藤委員	放置田の状況		平成12年(2000年)の調査結果では、武庫川流域内の約500km ² のうち、経営耕地面積が約39km ² 、耕作放棄地面積が約0.95km ² となっている。 これを率で表すと耕作放棄地は、経営耕作地に対して約2.4%、流域全体に対しては約0.2%となる。
8	02.質問・資料請求	03.治水	03.災害	伊藤委員	過去の被害状況とその対策		第6回委員会で資料を提示、説明する。
9	02.質問・資料請求	03.治水	03.災害	伊藤委員	各確率ごとに武庫川のどの箇所が危険か。(ハザードマップの作成)		第6回委員会の議題に合わせ資料を提示、説明する。河道の一部区間で流下能力の低い箇所があるが、直ちに危険という訳ではない。また、現時点では、作成主体である市はハザードマップは作成していない。今後、県は浸水予想区域図の作成により、支援を行う予定。
10	02.質問・資料請求	03.治水	03.災害	伊藤委員	内水被害の各確率ごとの発生の可能性とその地域(ハザードマップの作成)		内水被害を確率年評価することは、非常に困難と考える。また、現時点では、作成主体である市はハザードマップは作成していない。
11	02.質問・資料請求	03.治水	06.その他	伊藤委員	下水道の処理区(分流処理区と合流処理区を区分して)		
12	02.質問・資料請求	02.流域	05.その他	伊藤委員	河川の汚濁発生源(降雨後)		
13	02.質問・資料請求	02.流域	04.水循環・水収支	伊藤委員	流域の水収支の状況(本支流とも)位置と利排水の目的(水量もわかれば)		

「委員からの意見・質問等」 一覧

分類1	分類2	分類3	委員名	主 な 内 容	河川管理者の基本的な考え方		
					回答	補 足 説 明 等	
14	02.質問・資料請求	02.流域	04.水循環・水収支	伊藤委員	流域ダム管理者との連携方法(実態調査)について (現況の利水ダムに関する給水範囲を示して欲しい。)		
15	02.質問・資料請求	02.流域	04.水循環・水収支	伊藤委員	流域外から持ち出される河川水及び流域外から持ち込まれる河川水の量		すべての量を定量的に表現することは、困難である。
16	02.質問・資料請求	05.環境	01.生態系	伊藤委員	河川護岸及び河床の構造		
17	02.質問・資料請求	05.環境	03.下水道	伊藤委員	流域下水道以外の污水处理施設(名称、配置、処理区)(工場排水・畜産排水含む)		
18	02.質問・資料請求	05.環境	02.水質	伊藤委員	水質調査結果時系列変化(10年)		
19	02.質問・資料請求	05.環境	01.生態系	伊藤委員	河川横断構造物と魚道の有無とその利用状況		
20	02.質問・資料請求	05.環境	01.生態系	伊藤委員	流域内の貴重な自然のマッピング (兵庫県レッドデータブック2003情報の地図化)		
21	02.質問・資料請求	05.環境	05.その他	伊藤委員	流域内の学習環境拠点 (阪神北県民局環境課が公表している学習環境拠点を資料とすること)		
22	02.質問・資料請求	02.流域	05.その他	伊藤委員	堤外地への建築廃材の投棄の現状 宝塚市惣川左岸の採石場の上流、西宮市大多田川左岸上流の船坂集落近く。(不完全な土留めのため、河川内に土砂等の流入の恐れがある。他の地域にも同様な場所があるかどうか。)		惣川左岸は砂防指定地(個人所有地)であり、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、砂防法に基づき撤去等の指導を行っている。大多田川左岸も同様に砂防法に基づき勧告を行っている。なお、他の地域に同様な場所は確認されていない。
1	02.質問・資料請求	03.治水	01.河道	岡委員	下流部の部分的に工事が完成していない区間はどこか。		第6回委員会で資料を提示する。
1	02.質問・資料請求	03.治水	01.河道	岡田委員	主要な地点における、許容流下水量が算出できる河道データを提出して下さい。 また、各地点における許容最大流量を示して下さい。		第6回委員会で資料を提示する。

「委員からの意見・質問等」 一覧

分類1	分類2	分類3	委員名	主 な 内 容	河川管理者の基本的な考え方		
					回答	補 足 説 明 等	
2	02.質問・資料請求	03.治水	02.ダム	岡田委員	武庫川支流におけるダム湖の堆砂状況を時系列で説明して下さい。また、滞留した土砂の撤去作業を行ったのであれば、そのデータも添付して下さい。		現在、ダム管理者である関係課・市と調整の上、資料を整理しているところである。
3	02.質問・資料請求	03.治水	04.土砂	岡田委員	太多田川よりの土砂流出についてデータを示して下さい。		太多田川の土砂流出に関するデータはない。議題に合わせて、一般的資料を提出する。
4	02.質問・資料請求	03.治水	01.河道	岡田委員	国道176号拡幅計画について詳しく説明して下さい。 (計画と、具体の動き)		
5	02.質問・資料請求	03.治水	03.災害	岡田委員	リバーサイド住宅街でのS58以後の避難・待避勧告等を何回受けたのか。その時の被害等はどの程度であったか。		S58以降では3回避難勧告が出されている。S58には、床上浸水74戸が確認されている。
6	02.質問・資料請求	03.治水	03.災害	岡田委員	洪水ハザードマップは現在あるのか。なければ、いつ頃できるのか。		現時点では、作成主体である市は洪水ハザードマップを作成していない。今後、県は浸水予想区域図の作成により、市の洪水ハザードマップ作成の支援を行う予定。
7	02.質問・資料請求	03.治水	01.河道	岡田委員	「武庫川堤防技術検討委員会」の資料をすべて公表願います。今後の開催予定は。 (要点を示してもらえれば良い。)		議題に合わせて、武庫川堤防技術検討委員会での検討概要を提示する。なお、当委員会は平成15年度で終了している。
8	02.質問・資料請求	03.治水	02.ダム	岡田委員	河総(武)第7010-0-S05号と河促第2700-0-S20号の報告書、ダイジェスト版の配布を希望します。		
9	02.質問・資料請求	04.利水	01.水道	岡田委員	各市水道事業管理者の説明により、水道用水をどの水系からどの程度取水しているか、今後の需要増減の見通しについて、具体的な数値を示して下さい。		
10	02.質問・資料請求	04.利水	01.水道	岡田委員	西宮市は、川上ダムの利水者負担契約についてどのように考えているのか。		
11	02.質問・資料請求	05.環境	02.水質	岡田委員	各支川と本川合流点における、2003年水質調査結果を示して下さい。支川で最も水質の悪い川、その改善の見込み。		H15環境白書でデータが示されている。(兵庫県HP)
12	02.質問・資料請求	04.利水	02.その他	岡田委員	最近10年間の農業用水の使用量について各市域における変化を示して下さい。		

「委員からの意見・質問等」 一覧

分類1	分類2	分類3	委員名	主 な 内 容	河川管理者の基本的な考え方		
					回答	補 足 説 明 等	
13	02.質問・資料請求	02.流域	02.農地(ため池含む)	岡田委員	市域毎のため池の数、その増減傾向、合計貯水容量を示して下さい。 (基礎資料となるようなものでよい。)		
14	01.意見	05.環境	01.生態系	岡田委員	潮止堰は原則的に転倒運転方式に変更し、試験操業によりその影響を調査すべき。 (井戸使用に関する利用実態調査を行うべき。)		
15	02.質問・資料請求	05.環境	05.その他	岡田委員	国交省と農林水産省が魚の生息環境を改善する事業計画策定の手引きをまとめたとのことだが、これに対し兵庫県はどのように対応する予定であるか。		現段階では検討していない。
16	02.質問・資料請求	02.流域	01.森林	岡田委員	水源涵養林についてどのような施策が実施されてきたのか、今後総合治水対策の一環としてどのように対処していくのか。 (現状と今後を調べて欲しい。)		
17	01.意見	05.環境	01.生態系	岡田委員	篠山市当野地区では、H8の土砂流入の影響でオグラコウホネの生息に支障があると思う。土砂災害復旧がほとんど行われず、放置されているのが最大の原因である。再度実地調査を行い検討すべき。		土砂堆積については確認している。堆積状況を調査し、支障があれば除去する。
18	02.質問・資料請求	06.その他		岡田委員	公共事業等審査会の活動状況はどうなっているのか。		公共事業等審査会は、平成16年度も継続している。委員会の今年度の開催状況は、実施済み3回、今後4回を予定している。会議は非公開であるが、議事録はHP等で公開している(平成16年度分は整理中)。委員名簿は別紙1のとおり。
19	02.質問・資料請求	06.その他		岡田委員	兵庫県河川審議会のメンバー等内容はどうなっているのか。		兵庫県河川審議会委員名簿は別紙2のとおり。会議は、原則公開としている。
20	01.意見	01.運営	01.流域委員会	岡田委員	河川管理者から説明のあった「武庫川の現状と課題」は表面的・総括的であり、現状認識についても重要なポイントのもっと具体的な説明や、将来の取り組みについて河川管理者の考えを主体的に説明するべきであった。今後、これに伴う流域委員会との質疑応答や議論の時間も充分に取らなければならない。		-
21	01.意見	01.運営	01.流域委員会	岡田委員	治水の現状及び将来への展望をもっと率直に説明すべき。利水についてももっと踏み込んだ分析が必要である。 (河川管理者としての思いをもっと伝えるべきと感じた。)		-
1	02.質問・資料請求	01.運営	01.流域委員会	奥西委員	審議のための、資料の提出に関する基本的な考えは。		
2	02.質問・資料請求	02.流域	05.その他	奥西委員	流域の考え方について、下流部の市街地は流域の外と認識されているのか。中と認識されているのか。		狭義の意味では、集水域である。広義では洪水の氾濫区域等までを関連範囲と考える。

「委員からの意見・質問等」 一覧

分類1	分類2	分類3	委員名	主な内容	河川管理者の基本的な考え方		
					回答	補足説明等	
3	01.意見	06.その他	奥西委員	県の管轄ではない部分について、流域各市の担当者から現状と課題の説明を行って下さい。		河川整備基本方針・整備計画(案)策定に当たっては、関係市長に意見を聴くこととしている。このため、各市の担当者が個別事項の意見を述べることは、適切ではないと考える。	
4	02.質問・資料請求	02.流域	05.その他	奥西委員	西宮市、尼崎市について、武庫川流域と認識すべき範囲を図示して下さい。		狭義の意味では、集水域である。広義では洪水の想定氾濫区域までを関連範囲と考えるが、現時点での線引きは難しい。
5	02.質問・資料請求	03.治水	03.災害	奥西委員	昭和58年災害の甲武橋下流の堤内地の被災状況を写真を用い、説明して下さい。 (被災時の全体像がわかる写真がないか。)		第6回委員会で資料を提示、説明する。 写真は現在確認中である。
6	02.質問・資料請求	05.環境	01.生態系	奥西委員	水中生態系の1次生産者である藻類とプランクトンについて概要を報告して下さい。		委員で情報があれば提供されたい。
7	02.質問・資料請求	02.流域	01.森林	奥西委員	流域における保安林の状況を説明して下さい。 (分布状況、地図は難しいのでは。保安林解除された土地の防災措置の状況が知りたい。判断が甘いと聞く。)		
8	02.質問・資料請求	03.治水	04.土砂	奥西委員	武庫川流域の土砂生産、土砂流送と河床変動について、過去100年程度の概況を教えてください。 (「ひょうごの砂防」の概略をまとめるくらいで良い。)		土砂生産、土砂流送と河床変動についてのデータはない。 砂防事業の経緯については、「ひょうごの砂防」から、資料を作成し提示する。
9	02.質問・資料請求	04.利水	01.水道	奥西委員	武庫川の水は、他の水とブレンドしないと、トリハロメタンが多くて、上水道水源として使えないそうですが、その実態を教えてください。		水道法における水質基準に適合しており、問題はない。武庫川の水はトリハロメタンが多く、上水道水源として使えないという事実はない。
10	02.質問・資料請求	06.その他		奥西委員	新湊川の河川整備基本方針では、住民の参画と協働という理念はどのような形で実現しようとされていますか。		今年度竣工した防災ステーションなどは、計画の段階から、地元住民が参画し、施設の運営についても住民主体で行うことになっている。河川の親水整備に当たっても、住民が参画した検討委員会で必要な施設、配置、維持管理の分担等を議論した上で実施している。
11	02.質問・資料請求	06.その他		奥西委員	千種川の河川整備基本方針(案)に対する千種川委員会の主な提言内容とその反映状況を教えてください。千種川委員会に参加されている松本誠委員にもお願いします。		県が基本方針案を作成し、委員会が提言を行うといった手法を取っていない。原案(たたき台)の段階から、委員会で議論し、それを踏まえ方針案を作成した。委員会での議論については、HPの議事録を参照いただきたい。

「委員からの意見・質問等」 一覧

分類1	分類2	分類3	委員名	主な内容	河川管理者の基本的な考え方	
					回答	補足説明等
12	02.質問・資料請求	06.その他	奥西委員	千種川の河川整備基本方針(案)の基本高水流量決定の経過または根拠を教えてください。		基本高水流量決定の根拠は、近年までの雨量データを加え、降雨解析を行い、計画降雨量(265mm/24h)を千種川に適合した流出解析手法により、基準地点4,800m ³ /sを算出した。 経過については、詳細内容について、学識経験者で組織する治水部会で検討した上で委員会に報告し、決定された。
13	02.質問・資料請求	06.その他	奥西委員	千種川の河川整備基本方針(案)は、超過洪水対策に全く言及しない理由は何ですか。人命保全の考えを盛り込まれていないのですか。		千種川において計画規模の改修を実現するためには、長期を要し、それまでの間、整備途上における施設能力を上回る洪水対策について記載している。具体には、浸水予想区域図の作成、ハザードマップの作成支援、情報伝達体制の充実、土地利用計画との調整、浸水実績情報の提供、水防体制、警戒避難態勢の整備、防災教育等による平常時からの防災意識の向上、住民の主体的な水防活動のしくみづくりなどを記載している。
14	02.質問・資料請求	06.その他	奥西委員	千種川の河川整備基本方針(案)は、ソフト対策をおこなうとしながら、その具体的な方法に全く言及しない理由は何ですか。		ソフト対策については、浸水予想区域図の作成、ハザードマップの作成支援、情報伝達体制の充実、土地利用計画との調整、浸水実績情報の提供、水防体制、警戒避難態勢の整備、防災教育等による平常時からの防災意識の向上、住民の主体的な水防活動のしくみづくりなどを記載している。なお、整備計画を策定する段階でより具体的な検討を行う。
15	01.意見	01.運営	01.流域委員会	奥西委員	意見書の徴収について 多岐にわたる調査等に基づいて自分の意見を展開したい場合があると思うので、意見のすべてを期限内に書くことが難しい場合がある。一定の手続きを踏んで組織的に意見を集約した方が良い。	-
16	01.意見	01.運営	01.流域委員会	奥西委員	委員会審議フローについて 第5回流域委員会では、流域委員(田村・中川両委員)から出された審議フロー案をあくまでも正式提案として取り扱い、その他の意見(河川管理者案)はあくまでも参考意見として取り扱われるべき。	-
17	01.意見	01.運営	01.流域委員会	奥西委員	流域委員会事務局メンバーについて 事務局メンバーはパーマネントのメンバーとして発表を要求する。必要なことは、河川管理者サイドの発言を事務局メンバーの発言として聞くことを防ぐことである。	-
18	01.意見	01.運営	02.運営委員会	奥西委員	運営委員会に他の流域委員が出席することについて 運営委員以外の流域委員が少なくとも一人、運営委員会に出席されることが望ましい。	-
19	01.意見	01.運営	01.流域委員会	奥西委員	総合治水について 国土問題研究会の「武庫川ダム計画の問題と総合治水対策調査」報告書の説明を行いたい。また、別添でまとめている「武庫川流域委員会で治水問題について検討すべき事項」を併せて資料として使用し、委員からの意見に耳を傾けたい。	-

「委員からの意見・質問等」 一覧

分類1	分類2	分類3	委員名	主 な 内 容	河川管理者の基本的な考え方		
					回答	補 足 説 明 等	
20	02.質問・資料請求	03.治水	04.土砂	奥西委員	流砂とそのコントロールについて 流砂状況、ダムの堆砂状況等の基礎資料を求める必要がある。武庫川ダムの建設の可否を議論する場合は、信頼度の高い堆砂予測を河川管理者に要求する必要がある。 (太多田川、仁川の土砂流出データが欲しい。)		太多田川、仁川の土砂流出に関するデータはないが、議題に合わせ、一般的資料を提出する。 ダムの議論の際、堆砂予測評価資料を提出する。
21	01.意見	05.環境	05.その他	奥西委員	環境について 環境問題に詳しい流域委員を中心に、資料収集のポリシーがまず確立される必要があるように思える。		
22	01.意見	04.利水	02.その他	奥西委員	水利用について 水利用についても、専門家として、地域活動家として積極的に取り組んでいる委員から方法的なガイドラインが示され、それに沿った資料収集と不足する資料を補うための調査が必要である。		
23	01.意見	03.治水	06.その他	奥西委員	武庫川流域委員会での討議においては、特定都市河川浸水被害対策法の趣旨に沿って治水対策を審議することが必須であると考えられる。		特定都市河川浸水被害対策法の指定要件である「流域内の市街化されている土地の割合が概ね5割以上であること、河道整備などの従来の整備手法による対策が困難であること」ということから、適用は困難と考えている。
24	01.意見	03.治水	06.その他	奥西委員	水防法に従って活動すべき自治体、下水道管理者、都市計画決定権者に「現状と課題」について報告を求めることが必要ではないかと考えられる。		水防法、下水道法、都市計画法に基づいて各種計画があり、河川と関連する内容について、河川管理者から説明する予定である。
25	01.意見	03.治水	06.その他	奥西委員	武庫川流域委員会での審議でも、防災基本計画(2002年4月改訂)のポイントを外すことはできないと考える。		
26	01.意見	03.治水	06.その他	奥西委員	河川整備基本方針の中で治水方針を策定する際に、洪水時の被害想定を行うことは不可欠であり、そのために水防法(2001年6月改訂)の規定が参考になると思われる。		
1	01.意見	02.流域	01.森林	加藤委員	保安林指定の状況は、		
2	01.意見	03.治水	06.その他	加藤委員	いつ想定以上の洪水がくるかわからない。水があふれてきたときにどうするのかの議論を充分に行う必要がある。このような状況下において従来の川とダムで対応する「河道主義」ではもはや立ち行かないと考える。		
3	01.意見	03.治水	06.その他	加藤委員	第4回流域委員会で河川管理者から「武庫川の現状と課題」が説明されたが、流域全体を想定した治水対策は希薄に感じられた。		
4	01.意見	03.治水	06.その他	加藤委員	土地利用状況によると、森林、田畑が流域に占める割合が約80%となっており、降水量は大半を占めているものと考えられることから、これらと連結した治水対策を検討する必要がある。		

「委員からの意見・質問等」 一覧

分類1	分類2	分類3	委員名	主な内容	河川管理者の基本的な考え方		
					回答	補足説明等	
5	01.意見	02.流域	01.森林	加藤委員	砂防指定地とほぼ同様の目的である、森林法による「保安林」の情報を掲載すべきである。		土砂管理に関する事項として、砂防法による砂防指定地、森林法による保安林の指定などがある。これらの区域情報を可能な範囲で整理し、資料を作成する。
6	01.意見	02.流域	01.森林	加藤委員	土砂流出防備などを目的とした保安林と他の森林を併せて適正な森林管理を行うことは、コストが安価でしかも下流域の生態系に及ぼす影響も大きいことから、今後の検討課題として取り組んでいただきたい。		
7	01.意見	06.その他		加藤委員	上下流の市民が水にかかわる市民として、相互理解を深めるために交流を図ることが重要である。		
8	01.意見	02.流域	01.森林	加藤委員	全国各地で下流自治体が水資源確保のため、上流自治体の森林整備を支援する様々な取り組みがなされているが、武庫川の場合はどうか。		
1	02.質問・資料請求	03.治水	03.災害	草薙委員	昭和58年災以降、武庫川でとられた河川対策の具体は、 (7月30日付け意見書に差し替え)		
2	01.意見	03.治水	03.災害	草薙委員	武庫川の災害とその内容把握を目的とする研修会の開催を要望。		
3	02.質問・資料請求	03.治水	03.災害	草薙委員	昭和58年9月における増水の要因解明について教えて下さい。(地域別降雨量、保水能力、降雨量と河川の流下能力、支川との関係、河積－高水敷・低水敷の比率、降雨強度、堤防強度、現有ダムと貯水能力との関係、その他) (7月30日付け意見書に差し替え)		
4	02.質問・資料請求	03.治水	03.災害	草薙委員	昭和58年9月の増水解消を目的とし、実施してきた対策について教えて下さい。また、保留されている対策があれば、教えて下さい。 (7月30日付け意見書に差し替え)		
5	01.意見	01.運営	03.その他	草薙委員	第4回流域委員会での2名の委員からの調査検討要領は、重要な要点が挙げられているが、すべてを取り上げ検討することは、到底不可能である。故に、討議のため優先的に実施する項目をピックアップし、作業を進めることが必要である。		
6	02.質問・資料請求	02.流域	01.森林	草薙委員	上流(源流)の水源涵養保安林の実態と計画の取り組み (7月30日付け意見書に差し替え)		
7	02.質問・資料請求	02.流域	02.農地(ため池含む)	草薙委員	貯水池などの現状・能力・将来展望 (7月30日付け意見書に差し替え)		

「委員からの意見・質問等」 一覧

分類1	分類2	分類3	委員名	主な内容	河川管理者の基本的な考え方		
					回答	補足説明等	
8	02.質問・資料請求	03.治水	04.土砂	草薙委員	土砂の流出の激しい支川流域の環境とその原因・対策 (7月30日付け意見書に差し替え)		
9	02.質問・資料請求	03.治水	01.河道	草薙委員	堤防の耐震性能と洪水堤防強度の増強 (7月30日付け意見書に差し替え)		
10	02.質問・資料請求	03.治水	01.河道	草薙委員	堤防林(河畔林)の堤防安全性 (7月30日付け意見書に差し替え)		
11	02.質問・資料請求	05.環境	04.空間利用	草薙委員	中流部～下流部の河川空間(高水敷)の利用実態と低水路への移管 (7月30日付け意見書に差し替え)		
12	02.質問・資料請求	03.治水	01.河道	草薙委員	河積(流水の占める面積)の拡張による流下能力の増強 (7月30日付け意見書に差し替え)		
13	02.質問・資料請求	05.環境	01.生態系	草薙委員	地域別動植物の品種とその生態系と実情 (7月30日付け意見書に差し替え)		
14	02.質問・資料請求	03.治水	03.災害	草薙委員	7月30日付け意見書 第1ステップ 過去(近年)の実績降雨量をリストアップ ・発生事例:S35、S58、H1 流域ごとの降雨量 (上記内容を流域図にプロット)		第6回委員会で資料を提示、説明する。
15	02.質問・資料請求	03.治水	01.河道	草薙委員	7月30日付け意見書 第1ステップ 支川の流水能力(危険流量)と流量、本川の流水能力(危険流量)と流量、低水域の拡張 (流下能力の危険箇所をプロットする。低水路幅を拡大できる可能性)		第6回委員会で資料を提示、説明する。
16	02.質問・資料請求	03.治水	02.ダム	草薙委員	7月30日付け意見書 第1ステップ ダムの貯水能力と貯水量 (青野ダムがある場合、無い場合における武庫川の流下能力)		
17	02.質問・資料請求	03.治水	01.河道	草薙委員	7月30日付け意見書 第1ステップ 危険箇所と改修内容		第6回委員会で資料を提示、説明する。

「委員からの意見・質問等」 一覧

分類1	分類2	分類3	委員名	主 な 内 容	河川管理者の基本的な考え方		
					回答	補 足 説 明 等	
18	02.質問・資料請求	03.治水	04.土砂	草薙委員	7月30日付け意見書 第1ステップ 本川に及ぼす支川特有の問題点、ならびにその対策 土砂災害、砂防ダムの保全		武庫川水系には、土石流危険渓流（土石流の発生する危険性があり人家5戸以上に被害を及ぼす恐れのある渓流）が、214渓流あり、その内、着手渓流は48渓流、着手率は約23%となっている。また、震災復興プロジェクトの一つとして、流域の一部範囲では、緑豊かな都市環境及び自然環境や緑地景観の保全創出を図るため、市街地に接する山麓から山腹斜面一帯を一連の防災樹林帯として整備する六甲山系グリーンベルト整備事業を進めている。
19	02.質問・資料請求	02.流域	01.森林	草薙委員	7月30日付け意見書 第1ステップ 上流域の水源涵養保安林の実態 (区域現況と変遷が分かる資料)		
20	02.質問・資料請求	02.流域	02.農地(ため池含む)	草薙委員	7月30日付け意見書 第1ステップ S35、S58、H1の貯水池の能力と効果 (ため池の個数及び貯留能力の現況と変遷が分かる資料)		時代別の推移の整理については、データの有無を確認している。
21	02.質問・資料請求	05.環境	04.空間利用	草薙委員	7月30日付け意見書 第1ステップ 河川空間(高水敷)の働きと、低水路への移管(河積の拡張) (現状の高水敷を掘削して低水路断面を拡大させ流下能力をUPさせる検討)		高水敷の働きは、堤防の保護や河川空間としての利用である。利用の実態については、第4回流域委員会時に説明したところである。
22	02.質問・資料請求	03.治水	01.河道	草薙委員	7月30日付け意見書 第2ステップ 計画規模における治水計画策定の検討 雨量・流量などの試算・解析・評価し河川の数的立証の構築		
23	02.質問・資料請求	03.治水	01.河道	草薙委員	7月30日付け意見書 第2ステップ 地震へ対応、堤防の耐震度		武庫川堤防技術検討委員会での検討概要を、議題に合わせて、説明する。
24	02.質問・資料請求	03.治水	03.災害	草薙委員	7月30日付け意見書 第2ステップ 超過洪水対策		
25	02.質問・資料請求	03.治水	01.河道	草薙委員	7月30日付け意見書 第2ステップ 堤防林(河畔林)の堤防安全性		武庫川堤防技術検討委員会での検討概要を、議題に合わせて、説明する。
26	02.質問・資料請求	03.治水	03.災害	草薙委員	7月30日付け意見書 第3ステップ 洪水災害警報システム 危険箇所の公表・的確な情報伝達と早急な避難ルールの確立		

「委員からの意見・質問等」 一覧

分類1	分類2	分類3	委員名	主な内容	河川管理者の基本的な考え方		
					回答	補足説明等	
27	02.質問・資料請求	02.流域	05.その他	草薙委員	7月30日付け意見書 第4ステップ 流域開発と保水施設 特に上流域の開発に対する治水貯留施設の設置 (開発地における貯留施設の設置要綱)		兵庫県では、調整池指導要領に基づき、開発面積1ha以上で洪水流量の増大をもたらすものについて調整池設置の指導をしている。
1	01.意見	06.その他		酒井委員	川の持つ機能、人の暮らしと川の関係の説明が欠落していた。		
2	01.意見	01.運営	01.流域委員会	酒井委員	水辺空間の保全に意を尽くさねばならない。そのため、川をいかしたまちづくりを成功させている先進事例の見学会を提案する。 (先進事例調査箇所は、鶴見川、矢作川、木津川が良い。)		-
1	02.質問・資料請求	03.治水	03.災害	佐々木委員	水防活動に関する説明をお願いしたい。		
2	02.質問・資料請求	02.流域	01.森林	佐々木委員	源流及び上流域 樹林帯である緑の活用や樹林、緑地を整備し、植生等をコントロールすることによるストロー効果を期待すべき。 (ストロー効果(吸水、保水)のある植物・樹木でどのようなものがあるのか。)		
3	02.質問・資料請求	02.流域	02.農地(ため池含む)	佐々木委員	源流及び上流域、農地開墾地域及び三田周辺開発地域 農地と遊水地・調整池・ため池の関係を整理し直してみる余地がある。 (農地、遊水地、調整池、ため池の本来の意味を明記)		農地:農業に使用する土地 遊水地:洪水量を一時貯留して最大流量を減ずるために設ける施設 調整池:開発に伴い雨水流出の増を調節する池 ため池:農業用水として利用するために貯留する池
4	02.質問・資料請求	03.治水	01.河道	佐々木委員	源流及び上流域、農地開墾地域及び三田周辺開発地域 ボトルネック橋梁、放水路等の調査を行うべき。 (放水路とは、川に入ってくる全ての水路)		各橋梁の現状は確認している。川に入ってくる全ての水路の調査は、必要性などを委員会で議論していただきたい。
5	02.質問・資料請求	03.治水	03.災害	佐々木委員	源流及び上流域、農地開墾地域及び三田周辺開発地域 水防関連の調査をし、水防図と独自の水防体制・手法等を重ね合わせることによって災害に対する河川の性格を知る必要がある。		
6	02.質問・資料請求	03.治水	01.河道	佐々木委員	農地開墾地域及び三田周辺開発地域 ショートカットによる河川整備により失われた武庫川らしさ・風情を再生するべき。 (現在と過去の航空写真等を用い河川の変遷が分かる情報図を作成する。)		
7	02.質問・資料請求	02.流域	03.都市	佐々木委員	農地開墾地域及び三田周辺開発地域 開発地域における浸透・保水対策の調査を行うべき。 (浸透・保水対策の可能性を把握する。(流出係数、土壌浸透係数) 公共施設(学校、公園))		流域内における公共施設(学校、公園)の位置情報は武庫川ホームページを参考とされたい。

「委員からの意見・質問等」 一覧

分類1	分類2	分類3	委員名	主な内容	河川管理者の基本的な考え方		
					回答	補足説明等	
8	02.質問・資料請求	03.治水	01.河道	佐々木委員	農地開墾地域及び三田周辺開発地域 スーパー堤防の考え方を応用したり、桜づつみモデル事業・ふるさとの河川整備事業等の引用も考えられる。 (上記の事業実績と今後の計画)		
9	01.意見	03.治水	02.ダム	佐々木委員	ダムサイト周辺 武庫川ならでの自然を何とか最大限に生かせる手法を検討すべきではないかと実感した。		
10	01.意見	03.治水	02.ダム	佐々木委員	ダムサイト周辺 支流の水は支流で治める流域対策、河川改修によってダムがない場合の安全率確保を検討するべき。		
11	02.質問・資料請求	03.治水	01.河道	佐々木委員	都市河川域 堤防のあり方を考え直すべき。(スーパー堤防・桜づつみモデル事業) (上記の事業実績と今後の計画)		
12	02.質問・資料請求	02.流域	03.都市	佐々木委員	都市河川域 流域の保水を考えるべき。(透水性舗装・浸透柵の整備等) (浸透・保水対策の可能性を把握する。(流出係数、土壌浸透係数) 公共施設(学校、公園))		流域内における公共施設(学校、公園)の位置情報は武庫川ホームページを参考とされたい。
13	02.質問・資料請求	02.流域	02.農地(ため池含む)	佐々木委員	都市河川域 洪水調節機能としてのかつて下流域に見られたため池を見直すべき。 (兵庫県にため池オアシス構想(大阪府)の様なものはありますか。)		
14	02.質問・資料請求	03.治水	06.その他	佐々木委員	支流 支流毎に徹底した流量調節案を練るべき。(例えば、遊水地、ため池他)		
15	01.意見	03.治水	01.河道	佐々木委員	リバーサイド地域 最優先の課題として、まず最大限の安全率で早急に保護することができるような策を前提に全体案を議論すべきである。		
16	02.質問・資料請求	03.治水	06.その他	佐々木委員	様々な重点整備事業を活用する。 (各事業実績と今後の計画)		
17	02.質問・資料請求	03.治水	01.河道	佐々木委員	河道の整備(築堤・浚渫等) (現況断面図や写真を先ほど述べた河川情報図とリンクさせる。)		河川情報図等の作成については、委員会で議論されたい。
18	02.質問・資料請求	03.治水	01.河道	佐々木委員	遊水地・放水路等の建設 (現況施設の有無)		河川管理者とし管理している遊水地や放水路の施設はない。

「委員からの意見・質問等」 一覧

分類1	分類2	分類3	委員名	主 な 内 容	河川管理者の基本的な考え方		
					回答	補 足 説 明 等	
19	02.質問・資料請求	02.流域	02.都市	佐々木委員	市街化調整区域の保持 (市街化調整区域が分かる資料)		第3回委員会資料で提出済み。
20	02.質問・資料請求	02.流域	05.その他	佐々木委員	自然地の保全 (砂防、保安林、自然公園、市街化区域の緑地の区域が分かる資料)		市街化区域の緑地は第3回委員会資料、砂防指定区域、自然公園区域は第4回委員会資料で提出しています。保安林指定区域は現在関係部局と調整し、資料を整理している。
21	02.質問・資料請求	02.流域	05.その他	佐々木委員	防災調整池等の設置 (位置、容量について)		位置情報については、武庫川のホームページを参考とされたい。
22	02.質問・資料請求	02.流域	02.都市	佐々木委員	透水性舗装・浸透柵の整備 (浸透・保水対策の可能性を把握する。(流出係数、土壌浸透係数) 公共施設(学校、公園))		
23	02.質問・資料請求	02.流域	05.その他	佐々木委員	盛土の抑制 (武庫川上流(篠山)における低地で将来盛土する可能性がある地域を教 えて欲しい)		
24	01.意見	02.流域	05.その他	佐々木委員	営農環境の改善 (現在、低地の田畑が将来造成や荒れ地にならないように営農環境を改善 する必要がある。)		
25	02.質問・資料請求	02.流域	05.その他	佐々木委員	内水排除施設の整備 (施設の有無、将来計画について)		
26	02.質問・資料請求	02.流域	05.その他	佐々木委員	貯留施設の設置 (施設の有無)		ため池、防災調節池の位置情報については、武庫川ホーム ページを参考されたい。
27	02.質問・資料請求	02.流域	05.その他	佐々木委員	耐水性建築の奨励		
28	02.質問・資料請求	03.治水	03.災害	佐々木委員	警報避難システムの確立 (上記システムがあるのか)		
29	02.質問・資料請求	03.治水	03.災害	佐々木委員	水防管理体制の強化		

「委員からの意見・質問等」 一覧

分類1	分類2	分類3	委員名	主な内容	河川管理者の基本的な考え方		
					回答	補足説明等	
30	02.質問・資料請求	03.治水	03.災害	佐々木委員	浸水実績・予想区域の公表		第6回委員会で資料を提示、説明する。
31	01.意見	03.治水	03.災害	佐々木委員	住民へのPR (被害軽減対策としての)		
1	02.質問・資料請求	03.治水	01.河道	谷田委員	三田での改修前後の河積の状況を知りたい。		第6回委員会で資料を提示、説明する。
2	02.質問・資料請求	04.利水	02.その他	谷田委員	豊・平・低・濁水流量が治水上どう使われているのか。		河道計画において参考としている。
3	02.質問・資料請求	04.利水	01.水道	谷田委員	濁水時の水道等取水はどうなっているのか。		
4	02.質問・資料請求	04.利水	02.その他	谷田委員	川の伏流水と表流水の関係はどうなっているか。		伏流水とは、表流水が地下に潜ったものです。伏流水は、河川の表流水と一体をなしていると考えられますが、その伏流機構は、完全に解明されていません。
5	02.質問・資料請求	05.環境	04.空間利用	谷田委員	堤外地における高水敷の割合、また高水敷に対するグラウンドの割合はどうか。		河口から宝塚市の宝来橋(S字橋)までの堤外地が約350haある。高水敷、低水路の面積については、整理された資料がないが、公園として供用されている面積が、約90haあり堤外地の約26%を占めている。このうち、グラウンド面積は6.2haあるので、公園面積の約7%となる。
6	02.質問・資料請求	05.環境	04.空間利用	谷田委員	グラウンドの利用料はいくらか。		グラウンドの利用料金は徴収していない。 (占有市;西宮市、尼崎市、宝塚市)
7	02.質問・資料請求	02.流域	01.森林	谷田委員	支流に5基の水源ダムがあるが「水源林」の現況は？ (ダム上流域の保安林の状況を図示)		
8	02.質問・資料請求	02.流域	01.森林	谷田委員	流域の森林面積、国有林の広さ、分布、民有林の状態、林業は？ (林業の収入は？)		
9	02.質問・資料請求	04.利水	02.その他	谷田委員	流域の農業について、水田面積、休耕田の広さ、米の収量、要する水の量は？そのうち、武庫川からの直接取水状況は？水利組合とは？ (水利組合の説明は不要)		実績データの存在の有無も含め、関係機関に問い合わせを行う。

「委員からの意見・質問等」 一覧

分類1	分類2	分類3	委員名	主 な 内 容	河川管理者の基本的な考え方		
					回答	補 足 説 明 等	
10	02.質問・資料請求	04.利水	02.その他	谷田委員	利水基準点と治水基準点とは？		利水基準点とは、正常流量の設定や利水計画の策定に関する計画基準点である。治水基準点とは、洪水を防ぐための計画を作成する時に、代表となる地点であり、この地点において、基本高水流量及び計画高水流量を定め、その河川の改修計画が作成される。
11	02.質問・資料請求	04.利水	02.その他	谷田委員	豊・平・低・濁水が河川流量に占める意味は？ダムによって流量はどう変わるのか？（この質問は削除する。） 青野ダムと生瀬橋基準点の濁水流量が同じなのは？		検討の結果、たまたま同じとなった。
12	02.質問・資料請求	04.利水	02.その他	谷田委員	青野ダムから生瀬基準点までの区間の工業用水の取水状況は？		
13	02.質問・資料請求	03.治水	01.河道	谷田委員	三田市街地での武庫川の直線化による河積の減少分は？（河道容積の比較） 団地の開発による流出係数の増大分は、なされた対策は？（三田フラワー・ウッディ・カルチャータウン）		河道容積のデータはないが、河積は減少していない。開発に伴う流出増に伴う対策は、調整池の設置である。
14	02.質問・資料請求	03.治水	04.土砂	谷田委員	堆砂状況について、六甲山系からの流出が全体に占める割合は？		
15	02.質問・資料請求	05.環境	01.生態系	谷田委員	植物について、河川敷の植物、コスモスなどの栽培は？ 堤防の桜について？ 自然再生とは？ （この質問は削除する。）		
16	02.質問・資料請求	03.治水	04.土砂	谷田委員	採石場の分布、土砂災害の発生は？ （土砂災害の発生についての説明は不要）		
17	02.質問・資料請求	05.環境	04.空間利用	谷田委員	宝塚市から下流の堤外面積、高水敷の面積、低水路の面積の割合は？ 都市部での利用について？ （都市部での利用についての説明は不要）		河口から宝塚市の宝来橋（S字橋）までの堤外地が約350haある。高水敷、低水路の面積については、整理された資料がないが、公園として供用されている面積が、約90haあり堤外地の約26%を占めている。このうち、グラウンド面積は6.2haあるので、公園面積の約7%となる。
1	01.意見	06.その他		田村委員	治水、利水、環境の3つの側面を中心に調査分析するだけでいいのか、再度検討を要する。 （特に環境の定義が狭い。風景や周辺環境、地域づくりも含めた検討が必要である。）		
2	01.意見	02.流域	03.都市	田村委員	私が提案しているフローの中の「C-1地域条件調査」も実施されたい。 （調査範囲は流域と甲武橋～河口までの両岸500mの範囲である。）		

「委員からの意見・質問等」 一覧

分類1	分類2	分類3	委員名	主 な 内 容	河川管理者の基本的な考え方		
					回答	補 足 説 明 等	
3	01.意見	02.流域	05.その他	田村委員	地域住民が愛し、上手に武庫川と付き合う仕組みづくりがベースにあって河川整備計画が生きて考える。		
4	01.意見	06.その他		田村委員	調査範囲は、武庫川を生活圏域とする両岸500mから1.0kmの区域は、河口まで含めて調査対象とすべき。		
5	01.意見	02.流域	05.その他	田村委員	河川のゾーニング 周辺の土地利用、環境状況とリンクさせたゾーニングが必要である。これらのゾーンの特徴を十分把握したうえで、ゾーンにあった適切な「河川整備計画」を策定すべきである。		
6	02.質問・資料請求	02.流域	03.都市	田村委員	法規制状況 武庫川に「都市計画緑地」が指定されていることを忘れないください。 (都市計画緑地の内、水面、高水敷、河川敷緑地等の面積区分が分かる資料が欲しい。)		河口から宝塚市の宝来橋(S字橋)までの堤外地が約350haある。高水敷、低水路の面積については、整理された資料がないが、公園として供用されている面積が、約90haあり堤外地の約26%を占めている。このうち、グラウンド面積は6.2haあるので、公園面積の約7%となる。
7	01.意見	06.その他		田村委員	今後の追加調査について 委員会の議論において必要となった場合、対応してもらえるのか。場合によっては、委員会でワーキングチームをつくって、自ら調査できるのか。 (自主的に各委員が様々な問題に対して、個別にワーキングや現地調査を行いたいと考えている。)		
1	01.意見	03.治水	01.河道	土谷委員	H17から行われる予定の宝塚～生瀬間の河川改修工事については、景観を守るためにも、川の生き物をこれ以上減らさないためにも、武庫川上流の治水対策検討委員会のようなものをつくって、再検討する必要があると思う。		現時点で委員会の設置は予定していない。
2	02.質問・資料請求	02.流域	05.その他	土谷委員	校庭貯留、グラウンド貯留を考えるに当たって、各市の校庭、グラウンドの数、面積を調べて欲しい。		
3	01.意見	06.その他		土谷委員	危険地域等に住宅をつくれない条例を制定するよう提案する。		都市計画法による開発許可、宅地造成等規制法等の制度がある。
1	01.意見	02.流域	05.その他	中川委員	検討対象流域 本委員会での検討対象を基準点甲武橋以降下流の河口まで含めた範囲を検討流域として捉え検討するべきである。		狭義の意味では、流域は集水域であるが、委員会での議論は、場合によっては、氾濫区域、給水区域等も対象とする。
2	01.意見	03.治水	03.災害	中川委員	過去の武庫川流域で発生した災害の直接的な原因を明確にする必要がある。		

「委員からの意見・質問等」 一覧

分類1	分類2	分類3	委員名	主な内容	河川管理者の基本的な考え方		
					回答	補足説明等	
3	01.意見	03.治水	03.災害	中川委員	過去の武庫川流域で発生した災害の状況説明を地理情報を伴って正しく理解する必要がある。 (「洪水」の意味を混同しないよう、一般の人は「洪水」を全て氾濫が伴うものと理解している。)		
4	02.質問・資料請求	03.治水	03.災害	中川委員	流域各地点での現時点での実現された治水安全度の情報提供を得、当委員会は参照すべきである。		第6回委員会で資料を提示、説明する。
5	02.質問・資料請求	03.治水	03.災害	中川委員	現時点での浸水想定区域図の情報を、本委員会は参照する必要がある。		浸水予想区域図を作成する際、想定する雨や流量は、河川整備基本方針において、決まるものである。なお、第6回委員会で参考となる資料の一部を提示、説明する。
6	02.質問・資料請求	02.流域	03.都市	中川委員	三田ニュータウン等大規模開発やゴルフ場開発において設置された調整池の総貯水量の年代毎の推移を明確にし、その情報を参照すべきである。		時代別の推移の整理については、データの有無を確認している。
7	02.質問・資料請求	03.治水	01.河道	中川委員	高水敷の治水目的外利用の状況を正しく把握する必要がある。具体的には、治水目的外利用面積が高水敷に占める割合である。 (堤外地における高水敷、低水路の面積の割合、また高水敷に対する公園等の割合は、市別)		河口から宝塚市の宝来橋(S字橋)までの堤外地が約350haある。高水敷、低水路の面積については、整理された資料がないが、公園として供用されている面積が、約90haあり堤外地の約26%を占めている。
8	02.質問・資料請求	02.流域	02.農地(ため池含む)	中川委員	流域内のため池の状況を把握しておく必要がある。降雨時にたん水可能な水量を把握しておくことである。時代別の推移があればなお良い。		治水計画では、ため池の満水の時に降雨が起こることを想定し、たん水可能量はゼロとしている。また、時代別の推移の整理については、データの有無を確認している。
9	02.質問・資料請求	02.流域	01.森林	中川委員	流域の土地利用で多数を占める森林の年代に沿った質的な変遷を参照する必要がある。 (人工林、自然林等の整理、その植生もわかれば)		
10	02.質問・資料請求	05.環境	01.生態系	中川委員	本委員会が流域の環境の現状を正しく理解するには、少なくとも重要な種についてのポテンシャル・ハビタット情報を参照する必要がある。		
11	01.意見	06.その他		中川委員	それぞれの地域での情報を参照し、正しく現状把握、原因分析、課題認識を行う必要がある。具体的な方法論については第4回流域委員会でご提案申し上げた通りである。		
1	02.質問・資料請求	03.治水	06.その他	長峯委員	これまで(過去20年間程度)の武庫川の改修や調査に費やされてきた費用、他の川との比較 (災害復旧工事も含めてわかる範囲で教えて欲しい。他河川との比較は、武庫川と同規模でダムのある河川であれば、イメージしやすい。)		
2	02.質問・資料請求	02.流域	05.その他	長峯委員	武庫川流域の土地利用の変遷(30年前、20年前、10年前、現時の状況) (特に三田市においての開発前後での土地利用が確認できる資料をお願いしたい。)		

「委員からの意見・質問等」 一覧

分類1	分類2	分類3	委員名	主 な 内 容	河川管理者の基本的な考え方		
					回答	補 足 説 明 等	
3	02.質問・資料請求	05.環境	03.下水道	長峯委員	武庫川に流れ込む下水道処理水、農業排水などの量の変遷(開発に伴う流出形態(量等)の変化を確認したい。三田ニュータウン区間に特定してもらっても良い。)		関係課・市とデータの有無の確認を行い、可能な範囲で資料を整理することとしている。
1	02.質問・資料請求	03.治水	01.河道	畑委員	三田地区の治水安全度は、青野ダムを考慮した結果か。		第4回委員会資料 - 1で示した三田地区の治水安全度は、河川を整備した当時の青野ダムを考慮した場合の治水安全度を示したものである。
2	01.意見	03.治水	02.ダム	畑委員	ダムを連携させる貯水池運用を検討しているのか。		貯水池運用は現時点では検討していない。ダムの嵩上げ、連携運用については、難しいと思われるが、検討資料を作成し、説明する。
3	01.意見	03.治水	02.ダム	畑委員	ダムの連携運用が可能なのか。概略検討を願いたい。		
4	01.意見	03.治水	02.ダム	畑委員	千苅ダム、青野ダムを嵩上げすることで、容量をアップさせるということは議論としてできるのか。概略検討を願いたい。		
5	02.質問・資料請求	03.治水	06.その他	畑委員	適正な治水安全度の水準について		
6	02.質問・資料請求	03.治水	06.その他	畑委員	環境・利水を重視しつつ治水安全度を高める方策について		
7	02.質問・資料請求	03.治水	05.管理	畑委員	一般の声を反映させる河川管理の新たなシステムづくりについて		
1	02.質問・資料請求	03.治水	01.河道	法西委員	第5回委員会の傍聴者発言「パラペットの嵩上げ等をやっていただきました。ただし、この流域委員会の意見がなければ、堤防の改修はできません。」と言われているが、県はこの方に対してどういう発言をしたのでしょうか。資料、説明をお願いします。		
2	02.質問・資料請求	03.治水	03.災害	法西委員	ハザードマップ、避難所、水防訓練等、この地域(リバーサイド住宅)の実状を次回委員会で資料の提出をお願いします。		
1	01.意見	03.治水	06.その他	松本(俊)委員	近年は、上流部で降った雨が短時間で下流に流下していると実感する。		

「委員からの意見・質問等」 一覧

分類1	分類2	分類3	委員名	主 な 内 容	河川管理者の基本的な考え方		
					回答	補 足 説 明 等	
2	01.意見	03.治水	03.災害	松本(俊)委員	平成12年9月の東海豪雨では、2日間で500mm以上という記録的な豪雨であった。仮にこの雨が武庫川流域で降った場合、田畑や多くの家屋が浸水被害にあうことは想像に難くない。		
3	01.意見	03.治水	05.管理	松本(俊)委員	現堤防が未曾有の大雨でも破堤することがないように強化、管理に努めていただきたい。		
4	01.意見	03.治水	01.河道	松本(俊)委員	リバーサイド住宅地では、現在のコンクリート擁壁の設置程度ではなく、根本的な治水対策をとるべきである。		コンクリート擁壁(パラペット)については、暫定対策として設置したものである。リバーサイド住宅地の治水対策については、現在下流から進められている広域基幹河川改修事業の中で、実施に当たっては詳細検討していきたい。
5	01.意見	04.利水	02.その他	松本(俊)委員	湯水の平成6年は、青野ダム、千刈ダムにより危機を脱した。既存のダムについては、管理者が異なり難しい面もあるだろうが、治水及び利水について、総合調整する方策を検討願いたい。		湯水時は関係機関で調整を行い、そこで具体方策が検討されることとなっている。
6	01.意見	04.利水	02.その他	松本(俊)委員	「適切な河川維持流量の確保」のために、流域全体の土地利用規制や山林の育成に取り組むべきである。		
7	01.意見	05.環境	03.下水道	松本(俊)委員	水質の向上については、下水道整備により一切の汚水を武庫川に流入させないことである。県の指導性を求めたい。		生活排水99%大作戦により、県・市連携して汚水対策等を進めている。
8	01.意見	03.治水	02.ダム	松本(俊)委員	当委員会での最大の論点は、武庫川ダム建設の有無と考える。県にはこのことについて、十分な議論ができるよう情報提供を求めたい。		
1	02.質問・資料請求	02.流域	04.水循環・水収支	村岡委員	上流域、中流域、下流域のそれぞれの水収支はどうか。関連して、地下水の情報も知りたい。		現在、概略図を作成中である。関連市に係る水道、下水等のシステムを上、中、下流毎、面的に整理する。「健全な水循環」の概念と合わせて説明したい。
2	01.意見	02.流域	04.水循環・水収支	村岡委員	「健全な水循環」の概念の分かり易い説明が必要		「健全な水循環」の基本的な考え方については、次回以降の委員会で概念図等を利用して説明したい。
3	01.意見	02.流域	04.水循環・水収支	村岡委員	「健全な水循環」と河川整備基本計画との関係の整理が必要		「健全な水循環」の概念と合わせて説明したい。
4	01.意見	02.流域	04.水循環・水収支	村岡委員	上流、中流、下流の各流域ごとの水収支の整理が必要(水資源涵養域の保全、市街化に伴う水収支の特徴検討、地下水の保全検討等に必要)		関連市に係る水道、下水道等のシステムを上、中、下流毎、面的に整理する。

「委員からの意見・質問等」 一覧

分類1	分類2	分類3	委員名	主 な 内 容	河川管理者の基本的な考え方		
					回答	補 足 説 明 等	
5	01.意見	02.流域	04.水循環・水収支	村岡委員	上水道の水源及び配水システムと下水道の処理・配水システムの位置的、量的特性の整理が必要(人為的な水の動きの把握に必要)		現在、概略図を作成中である。 「健全な水循環」の概念と合わせて説明したい。
6	01.意見	05.環境	03.下水道	村岡委員	水質改善と下水道の普及の説明ができる資料の整理が必要		下水道普及率と河川水の水質結果について、資料を整理する。 利水、環境の議論時に説明を行いたい。
7	01.意見	05.環境	03.下水道	村岡委員	下流域の下水道の普及と処理水放流点の位置、市街化における流出率の増大による低水流量の減少が見られる場合の裏付け資料の整理		下水道の放流点等については、平面図を作成し、提示する。 その他については、利水、環境の議論時に説明を行う。
1	01.意見	01.運営	02.運営委員会	山仲委員	運営委員会の目的は、日程(全体スケジュール)作成と議案の決定である。		-
2	01.意見	01.運営	02.運営委員会	山仲委員	運営委員会での討論は控え、議題に対しての討論は本委員会で行うことであり、これは反省点である。		-
3	02.質問・資料請求	03.治水	03.災害	山仲委員	S35災、S58災、H11災時の武庫川の水位と流量は。		第6回委員会の議題で資料を提示、説明する。
4	02.質問・資料請求	03.治水	03.災害	山仲委員	被害軽減に対するソフト対策の説明を。		治水計画検討時に、関係市と資料を整理し、説明する。